

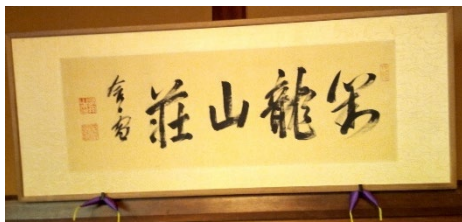
2022年度 11月野外例会

紅葉の美しい庭園を楽しみました！

開催日時	11月18日(金) 13:30~15:30
行き先	對龍山莊 京都市左京区南禅寺福地町22
	昭和63年、国の名勝指定 作庭時期(明治時代) 非公開
会費	2500円 参加者 15名(奈良支部会員2名含む)

秋晴れの下、左京区岡崎南禅寺にある對龍山莊に出かけました。普段は非公開で、なかなか厳しい見学申し入れを経て実現しました。

趣のある山莊の門をくぐり、玄関では一同白いソックスを上履きにして室内に入りました。小川館長さんから「對龍山莊の建物は重要文化財扱い、お庭は国の名勝指定、多くの美術品が展示され、緊張感を持ってご参観ください、写真撮影は許可のある場所のみ」などの説明と見学時のマナーについてのご注意をいただきました。



岡崎南禅寺界限には14、5の立派な別荘庭園があり、その中では對龍山莊は中間程度の規模という。広い敷地内に設けられた池やせせらぎの水は遠く琵琶湖の水が引かれ、滝も勢いよく水を落とす。水車小屋はカタンコットンと自然風景を醸し出すなど東山を借景とした庭園には様々な工夫が施されている。特に、對龍台と名付けられた建物は池に張り出すような形で作られ、建物と庭園が一体となった美しい景色を楽しむことができ、紅葉も見事でした。また室内には数々の美術品が置かれ楽しく鑑賞することができました。

對龍山莊は南禅寺の塔頭跡地に明治29~32年にかけて薩摩出身の実業家伊集院兼常



の別荘として造営され、その後、呉服商市田弥一郎が譲り受け、明治34~38年に改修が行われ現在の景観の基礎が出来上がった。贅を凝らした数寄屋造りの建物は当代随一といわれた島田藤吉が建てたものであり、庭園は伊集院

常兼が作庭したものをもとに近代庭園の名匠7代目小川治兵衛が作り直した。2010年に株式会社ニトリが譲り受け、維持、管理をされているという。

建物の見学の後は庭に降りて、実際に広い庭園内を散策しながら庭師加藤武史さんから説明を受けた。庭園の歴史を守りながら、景観維持に腐心される姿がそこにあり、樹々に対す

る愛情あるご説明に納得でした。足元の苔類も生き生きしていました。

約 2 時間近くの見学を終え、心地よい疲れを近くのホテルの喫茶室で癒し会員交流をしました。今回は深まり行く晩秋をたっぷり満喫した野外研修会でした。